

平成28年度
事業計画書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年3月14日

公益財団法人日本ユースリーダー協会

I. 新3カ年計画(H28~H30/2016~18年度)

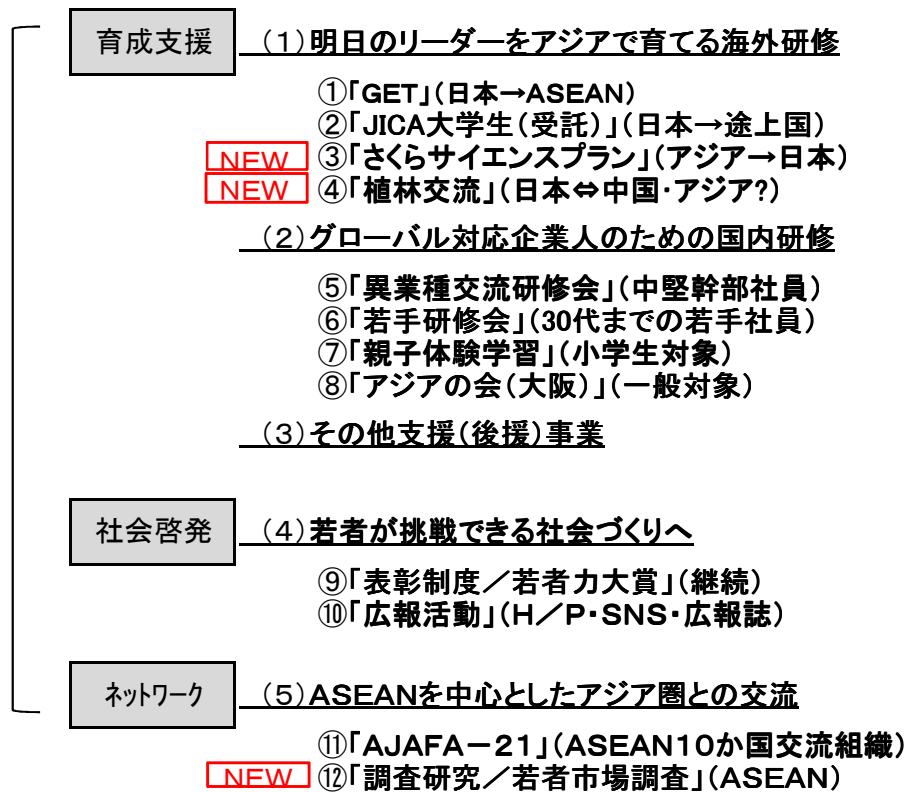
新3カ年計画(2016~2018)

- ★ 基本方針 ……◎ **アジアをフィールドに次代のユースリーダーを育成する(継続)**
- ① ASEAN諸国の交流ネットワーク(AJAF A-21)との連携がプラットフォーム
 - ② 日本の若者を対象に海外研修(GET)を実施(AJAF A-21との連携)
 - ③ ASEAN諸国や中国などからの研修受入と世代間交流

◆ 合言葉は

飛び出せ若者!!

- ★ 3年間の目標 .. (1) 500名の若者の、アジアでのリーダー体験を実践する。
「GET(240)」「さくら(100)」「JICA(80)」「植林交流(80)」
- (2) 600名の若者応援サポーターの輪を広げる。
「個人会員(300)」「学生・留学生(300)」
※資金援助(個人会員)と、若者ネットワーク(学生層)の両輪。
- ★ 事業計画 ……◎ 事業はすべて公益事業とし、3つの目的をもって構成する。



- ★ 組織体制 ……◎ 運営幹事会=実質審議を行う執行理事会議として毎月開催
◎ 事業委員会=担当理事による委員会執行体制での事業推進
- ★ 財政基盤 ……◎ 法人会員・個人会員の拡大 → 法人会員100社目標
◎ 助成金・補助金事業の開拓 → 外務省・文科省・JICA・JSTほか

Ⅱ. 平成28年度 事業計画

I. 育成支援事業

◎事業収支予算:▲7110千円(H27見込▲4770千円)

(1) 海外研修事業

◆事業収支予算:▲6600千円(H27見込:▲4747千円)

① 「グローバル・エデュケーション・ツアー (GET)」(短期海外研修)

◇事業収支予算:▲7100千円(収入10400・支出17500)(H27見込:▲5700千円)

当協会の中核事業として、日本の高校生・大学生を対象にした海外体験型研修事業を継続して実施。
現地協力体制の整備検討など、新たな体制強化に取り組む。
また参加学生の集客力を高める。

- (1) 研修実施……夏(8月)・春(3月) 各2コース×20名(80名)
- (2) 参加学生の集客力を高める。…定員超過を目指す。
- (3) 現地協力体制…派遣先における現地スタッフの強化策検討
- (4) プログラムの刷新…バージョンアップを含めた見直し検討
- (5) 安全管理対策…現地情報網の充実、危機発生時対応等
- (6) 卒業生の組織化検討…(例)留学生懇談会・さくらプラン学生交流等
- (7) 収支計画……参加学生の集客力強化(負担上限@100千円/人)

② 「JICA研修プログラム」(大学生フィールドスタディプログラム)(受託)

◇事業収支:▲100千円(収入0・支出100)(H27見込:+953千円)

H25年度よりスタートしたJICAによる研修事業を、再度受託を獲得する。
(※公開入札方式によるコンペティション。今年度は単独提案。)
過去2年の反省を活かして、安全管理面・コスト面・持続性などの点から、
現地での受け入れ体制の強化に努める。(AJAFA-21との連携)

- (1) 企画提案……今年度もコンペに参加し獲得を目指す。
- (2) 現地体制の強化…上記のGET事業とも共通

③ 「JST・さくらサイエンスプラン」(日本・アジア青少年サイエンス交流事業)(補助)

◇事業収支:+900千円(収入9000・支出8100)(H27見込:0千円)

H26年度よりスタートした「さくらサイエンスプラン」の補助金申請を行う。
今年度は、①「中国」②「ベトナム」からの交流受入計画を立案、
JSTへの補助金申請を行い、年間3回の実施を目指す。
次年度以降は、AJAFA-21経由でほかのASEAN各国にも呼びかけていく。

- (1) 企画提案・補助金申請…2月→実施:6月頃(15名程度・1週間)
5月→実施:9月頃(" ")
9月→実施:1月頃(" ")

④ 「植林交流」(現行の日中緑化基金による事業の改編)

◇事業収支予算:▲300千円(収入0・支出300)(H27見込:0千円)

H27年度にいったん参加を見送った中国植林事業であるが、
外務省によって新たな植林事業が検討されている。
方向を見据えながら、青年交流を軸とした協力参加の準備を進める。

- (1) 情報収集活動…「日中緑化交流基金」「外務省」「中国ルート」

(2) 国内研修事業

◆事業収支予算: ▲410千円(H27見込: +77千円)

⑤ 「異業種交流研修会」

◇事業収支予算: ▲100千円(収入300・支出400)(H27見込: +180千円)

当協会の法人会員をはじめ、企業の中堅幹部社員を対象として、
毎回、斯界を代表する講師を迎えて開催する研修会。
28年度も年間3回(6・10・2月)の開催を実施。

⑥ 「若手研修会」

◇事業収支予算: ▲100千円(収入200・支出300)(H27見通し: ▲37千円)

「異業種交流研修会」の弟版。企業の20代～30代の若手社員を対象に、
異業種の集まりという利点を生かして、相互の会社見学や懇親を通して、
見て、学ぶ研修会。
28年度も年間3回(4・8・12月)の開催を実施。

⑦ 「親子体験学習」

◇事業収支予算: ▲10千円(収入40・支出50)(H27見込: 0千円)

小中学生を対象にした親子で学ぶ体験学習。
主会場は新江の島水族館で、海の生き物たちとのふれあいや、水族館内の
バックヤード見学などを、親子(家族)が一緒になって体験する催し。
28年度も水族館や、宇宙博物館などの体験学習を計画。

⑧ 「アジアの会(大阪)」

◇事業収支予算: 200千円(H27見込: ▲65千円)

アジア圏の歴史、文化、そして現在の状況を学ぶ研修会。
通算50回を超す息の長い会合を継続して行う。

(3) その他支援事業

◆事業収支予算: ▲100千円(H27見込: ▲100千円)

i 「後援活動／忘れない、3.11」(幸福(しあわせ)の黄色いバンダナの会)

できる範囲の継続的な被災地復興支援を活動趣旨に、明日への一歩を
踏み出す意味で毎年3月12日に開催されている「忘れない、3.11」イベントに、
今年も後援協力する。

ii 「友好団体支援活動」

そのほかに、友好団体が取り組む若者支援活動に対して、可能な範囲で
協力支援を行う。

iii 「ユースチャレンジ支援活動」

自ら海外で活動に取り組んでいる若者たちに、ASEAN諸国における
人的ネットワークや情報ネットワークの提供を行う。

Ⅱ. 社会啓発事業

◎事業収支予算:▲2600千円(H27見込▲4730千円)

(4) 若者が挑戦できる社会づくりへ

◆事業収支予算:▲2600千円(収入800・支出3400)(H27見込:▲4730千円)

⑨ 「第8回若者力大賞」 ◇事業収支予算:▲1200千円(収入800・支出2000)(H27見込:▲2565千円)

28年度も「若者力大賞」の選考と表彰を実施する。
若者が挑戦できる社会をつくるという当協会の活動理念に添って、社会のために人知れず努力している若者たちを顕彰し、まわりの大人たちが、彼らの活動に目を向け、理解し、そして応援していくことを目的に実施。同時に、次に続く若い世代の参加も積極的に促していく。

⑩ 「広報活動」

◇事業収支予算:▲1400千円(H27見込:▲2165千円)

年間の広報計画(スケジュール・発信内容等)を組み立て、各種の広報ツールを効果的に活用して、発信力を高めていく。

i 「広報誌:YOUTH LEADER」の発行

◇事業収支予算:▲1200千円(H27見込:▲2165千円)

毎年2回(5月・11月)発行、上半期及び下半期の活動内容を報告。
28年度も2回発行。会員のみならず関係先や学生層にも配布を拡げていく。

ii 「ホームページ」の随時コンテンツ更新

◇事業収支予算:▲200千円(H27見込:0千円)

協会の情報公開と、広報誌と連動して活動ニュースを随時配信。
また各種イベントへの幅広い公募活動にも積極的に活用を図る。

iii 「ソーシャルメディア」の活用

◇事業収支予算:0千円(H27見込:0千円)

Facebook、TwitterなどのSNSを使った情報発信を行ない、データベースを活用したメールマガジンで、タイムリーかつ漏れのない情報発信に取り組む。
同時に、情報の管理マニュアルを徹底する。

Ⅲ. ネットワーク事業

◎事業収支予算:▲1100千円(H27見込▲994千円)

⑪ 「ASEAN諸国との交流ネットワーク」…AJAFA-21との交流促進

◇事業収支予算:▲1100千円(H27見込:▲994千円)

日本で研修を受けたASEAN諸国からの研修生の同窓会組織である「AJAFA-21」に、今年度から正式メンバーとして参画する。「リーダーズ・フォーラム(RLF)」「代表者会議(ECM)」、そして年4回の「TV会議」に継続参加し、交流を深めると同時に、ネットワークの更なる強化に取り組む。このネットワークを活用して、「GET」をはじめとする海外研修事業の成果につなげていく。

- (1) 交流活動(RLF/ECM/TVC)…参加範囲の拡大(RLF)
- (2) 組織改革への参画…事務局機能の検討(Web管理)等
- (3) 共同事業(活動)の可能性研究…フィジビリティ・スタディの実施

⑫ 「調査研究」(ASEANと日本の若者定点観測等→調査受託)

◇事業収支予算:0千円(H27見込:0千円)

AJAFA-21のネットワークをフル活用して、オリジナル視点での域内調査研究計画を検討する。ベンチマーキングができるようになれば、外部からの調査委託を受け入れる可能性も視野に入れる。

4. 委員会

◆主要事業は、別に定める委員会運営細則にもとづき、委員会を設置して実施する。

委員会名	内容	担当(理事・外部)	事務局
＜国際交流・研修＞ ◆委員長 阪本理事 ◆副委員長 中山副理事長	①「AJAFA-21」との交流・連携		} 里吉理事 赤松 神谷 清河 加藤
	②「GET」の企画・実施		
	③「JICA研修」提案・受託		
	④「さくらプラン」申請・実施		
	⑤「植林交流」情報収集		
	⑥「安全管理」の整備		
＜国内研修＞ ◆委員長 小笠原理事	①異業種交流研修会		} 林 加藤
	②若手研修会		
	③親子体験学習		
＜若者力大賞＞ ◆委員長 家本理事 ◆副委員長 佐藤理事	①「第8回若者力大賞」選考・表彰		} 赤松 林 丸山
	②広報・集客戦略		
	③収支改善検討		

5. 組織運営全般

◎収支予算: +10502千円(H27見込: +10642千円)

- ◆内訳 □ ◇収入: 35302千円(会費35100・寄附金100・雑収入100)
◇支出: 24800千円(人件費11700・事務所費4000・旅費交通費1200・通信費1400ほか)

(1) 公式会議

- ① 「評議員会(5月)」「理事会(5月・11月・3月)」「運営幹事会(毎月)」の開催
→ 「評議員会」…前年度事業・決算承認/役員選任/定款変更等
→ 「理事会」…前年度事業・決算承認/次年度事業・予算承認/規程変更等
→ 「運営幹事会」…運営全般管理/委員会活動/緊急事案の協議・決定等

(2) 会員管理

- ① 「会員(法人・個人)維持」…定期的コミュニケーション・研修への勧誘対策
② 「会長サロン」継続開催…法人会員代表者の理解促進・協力依頼

(3) 事務運営

- ① 「事務局(3名)」+「業務委嘱者(数名)」…新規事業の獲得を見ながら必要に応じて体制を強化する。

◆H28年度 総事業予算 (千円)

	(収入)	(支出)	(差額)
◆事業関連(1-4)	20,740	31,550	▲ 10,810
◆会費・運営費(5)	35,302 [※]	24,800	+ 10,502
	(※新規会員5社分の努力目標含む)		
合計	56,042	56,350	-308
◇H28年度	収支合計	—	308千円

平成28年度
収支予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年3月14日

公益財団法人日本ユースリーダー協会

平成28年度 収支予算
(自;平成28年4月1日 至;平成29年3月31日)

(千円)

科 目	金 額			参考
	28年度予算	27年度予算	増 減	27年度見込
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産利息収入	2	2	0	0
②会費収入	35,100	31,800	3,300	32,040
正・維持会員会費	34,100	31,300	2,800	30,860
個人会員会費	1,000	500	500	1,180
③事業収入	20,740	46,580	-25,840	11,810
(1)ユースリーダー育成	19,940	45,880	-25,940	11,110
①海外研修事業	19,400	45,400	-26,000	10,142
「GET」	10,400	10,400	0	6,830
「JICAプログラム」(受託)	0	35,000	-35,000	3,312
「さくらサイエンスプラン」	9,000	0	9,000	0
「植林交流」	0	0	0	0
②国内研修事業	540	480	60	968
「異業種交流研修」	300	250	50	848
「若手研修」	200	210	-10	100
「親子体験研修」	40	20	20	20
「アジアの会」	0	0	0	0
③友好団体支援	0	0	0	0
(2)社会啓発	800	700	100	700
①若者力大賞	800	700	100	700
②広報	0	0	0	0
(3)ネットワーク	0	0	0	0
①ASEAN交流(AJAF A-21)	0	0	0	0
②調査研究(AJAF A-21)	0	0	0	0
④寄付金収入	100	1,000	-900	1,100
⑤雑収入	100	0	100	129
事業活動収入合計	56,042	79,382	-23,340	45,079
2. 事業活動支出				
①事業支出				
(1)ユースリーダー育成	27,050	51,150	-24,100	15,904
①海外研修事業	26,000	49,000	-23,000	14,913
「GET」	17,500	18,000	-500	12,554
「JICAプログラム」(受託)	100	31,000	-30,900	2,359
「さくらサイエンスプラン」	8,100	0	8,100	0
「植林交流」	300	0	300	0
②国内研修事業	950	1,850	-900	891
「異業種交流研修」	400	500	-100	669
「若手研修」	300	400	-100	137
「親子体験研修」	50	50	0	20
「アジアの会」	200	300	-100	65
「留学生支援」	0	600	-600	0
③友好団体支援	100	300	-200	100
(2)社会啓発	3,400	4,000	-600	5,430
①若者力大賞	2,000	2,500	-500	3,265
②広報	1,400	1,500	-100	2,165
(3)ネットワーク	1,100	2,100	-1,000	994
①ASEAN交流(AJAF A-21)	1,100	2,100	-1,000	994
②調査研究(AJAF A-21)	0	0	0	0
事業活動支出合計	31,550	57,250	-25,700	22,328

科 目	金 額			参 考
	28年度予算	27年度予算	増 減	27年度見込
②管理費支出	24,800	22,500	2,300	22,627
(1)人件費	11,700	12,000	-300	11,450
①給与	11,000	11,000	0	10,800
②福利厚生費	700	1,000	-300	650
(2)賃借料	4,000	3,700	300	4,474
(3)事務経費	9,100	6,800	2,300	6,703
①旅費交通費	1,200	1,200	0	1,200
②通信運搬費	1,400	1,400	0	1,400
③事務消耗品	600	500	100	540
④諸会費	300	300	0	295
⑤その他(委託費・会議費等)	5,600	3,400	2,200	3,268
事業活動・管理費支出合計	56,350	79,750	-300	44,955
事業活動収支差額	-308	-368	60	124
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	0
①投資活動収入	0	0	0	0
2. 投資活動支出	325	325	0	325
①退職給付引当資産取得支出	325	325	0	325
投資活動収支差額	-325	-325	0	-325
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	0
①短期借入金収入	0	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0	15,000
①短期借入金返済支出	0	0	0	15,000
財務活動収支差額	0	0	0	-15,000
Ⅳ. 予備費支出	0	-75	75	0
当期収支差額	-633	-768	135	-15,201
前期繰越収支差額	24,044	39,245	-15,201	39,245
次期繰越収支差額	23,411	38,477	-15,066	24,044

(注1) 収支予算書は「新公益法人会計基準」に則り作成している。

(注2) 借入金限度額 20,000,000円 (前年同額)

(注3) 債務負担額 0円